

## 本 会 記 事

### ◎研究委員会の発足

このほどひらかれた理事会で、ALGOL, COBOL, EDPS, 機械翻訳の各研究会が委員制として、正式に発足することがきまった。また同席上、プログラム懇談会を本学会の研究委員会に編入することが認められた。同研究会の運営要領および委員はつぎのとおり。

#### 研究委員会運営要領

1. 委員は委員会の推薦にもとづき、理事会で選考し、会長がこれを委嘱する。
2. 委員長は委員の互選により、会長が委嘱する。ただし、委員長は会員に限る。
3. 委員には、会合通知を出し、印刷物、車代、茶菓などを提供する。旅費は出さない。
4. 委員以外の会員が委員会の会合に出席することはさしつかえない。ただし、会合通知、印刷物などは実費を徴収する。
5. 印刷物は委員会で配布する以外に、おのおの50部を賛助会員用に保留する。前項で印刷物の実費というのは、増刷にともなう比例費の部分を指すものとする。
6. 海外との連絡にあたっては、委員長名で手紙を出すことができる。
7. 年2回、各委員会ごとに予算、決算および事業報告を理事会に提出し、承認をもとめる。会計は学会事務局で経理するを原則とするが、特別の事情がある場合は、他に経理を委託することができる。ただし、委員会で学会以外の源泉から研究費を収納するには、あらかじめ理事会の承認をえておかなければならない。

#### ○ALGOL 研究委員会 (委員長 高橋秀俊)

森口繁一(東大工)、清水留三郎(東大工)、井上謙蔵(東大物性研)、中島勝也(早大)、長尾真(京大)、池野信一(通研)、高橋茂(電試)、西村真一郎(IBM)、古山良二(日電)、山本欣子(電子協)、今井晴夫(松下通工)、高橋延匡(日立)。

#### ○COBOL 研究委員会

関根智明(慶大)、永井雄二(日立)、大駒誠一(小野田)、吉村鉄太郎(東芝)、高田雅陽(電電公社)、金光良衛(富士通)、吉田恪郎(東レ)、岡本行二(東芝)、前田慶治郎(RR)、寺本弘(IBM)、渡辺昭雄(東

洋工業)、西村怨彦(IBM)。

#### ○EDPS 研究委員会

片岡信二(一橋大)、石川甲子男(国土地理院)、佐田輝夫(IBM)、植村義明(三菱原子力)、石原善太郎(東洋高压)、南沢宣郎(小野田)、金光良衛(富士通)、万代三郎(日電)、岡本行二(東芝)、吉村賢讓(東芝)、永井雄二(日立)、高田雅陽(電電公社)、田中信次郎(大和証券)、西尾出(三井物産)、水野幸男(日電)、吉田恪郎(東レ)、関根智明(慶大)。

#### ○機械翻訳研究委員会 (委員長 和田弘)

小保内虎夫(東京教育大)、蓼沼良一(電試)、金子隆芳(東京教育大)、山形直(国鉄)、田口孝之(福島大)、沢田允茂(慶大)、水谷静夫(国語研)、石本新(東工大)、渡辺修(新潟大)、坂井一郎(防衛庁)、岡本哲也(明治大)、泉井久之助(京都大)、大西誠一郎(名古屋大)、根野豊(学芸大)。

#### ○プログラム懇談会

(1) 顧問: 高田昇平(日立)、豊田準三(三菱)、喜安善市(通研)、出川雄二郎(日電)、加藤重義(有隣)、安藤馨(IBM)、池田敏雄(富士通)、高橋茂(電試)、金松正世(国鉄)、原科茂(電子協)、多賀保吉(統数研)、大泉充郎(東北大)、渡辺信三(三菱原子力)、伊藤博(気象庁)、中山隆(日本原子力)、高橋秀俊(東大)、森口繁一(東大)、松崎栄(北辰)、宇都宮肇(東芝)、南沢宣郎(小野田)、平山博(早大)、山内二郎(慶大)、広川愿二(伊藤忠)、藤川洋一郎(日科技連)、宮崎義利(八幡製鉄)、樋口一雄(航空技研)、小野弘智(東芝)、中江順一(NBC)、中川一郎(沖)、大杉欣一郎(松下通工)。

(2) 委員: 島田正三(日立)、吉江高明(三菱電)、池野信一(通研)、古山良二(日電)、岡本彬(有隣)、西村真一郎(IBM)、石井康雄(富士通)、蓼沼良一(電試)、中西俊男(国鉄)、山本欣子(電子協)、渋谷政昭(統数研)、桂重俊(東北大)、上村義明(三菱原子力)、磯部谷郎(気象庁)、磯田和男(日本原子力)、高橋秀俊(東大)、高田勝(東大)、田中明(北辰)、吉村賢讓(東芝)、和田英一(小野田)、田村康雄(早大)、浦昭二(慶大)、丸山満(伊藤忠)、矢島敬二(日科技連)、松谷泰行(八幡製鉄)、高橋利之(航空研)、白井国雄(東芝)、本間久雄(NBC)、長谷川誠一(沖)、北小路明子(松下通工)。

### ◎ISO, IEC 国内委員会の発足

通産省工業技術院の委嘱をうけ、本学会内に ISO, IEC の国内規格委員会が、本年から新しく発足した。まず初回は合同委員会として1月29日、日本電子工業振興協会でひらかれた。同会の目的は、情報処理関係の国際規格に、わが国の意見を反映させ、同時に国内におけるこの方面の規格の制定の機運をたかめることにある。

委員はつぎのとおりである。

山下英男(会長)、高橋秀俊(東大)、和田弘(電試)、喜安善市(通研)、森口繁一(東大)、西條利彦(防衛庁)、猪瀬博(東大)、有働亨(通産省)、原科茂(電子協)、大和田武(工技院)、霜永忠平(工技院)、河野忠義(国鉄)、三原裕登(電電公社)、新堀達也(通研)、岸上勉(沖)、高崎勲(日電)、小林大祐(富士通)、牧野雄一(東芝)、高田昇平(日立)。

## 会誌への寄稿規定

- (1) 寄稿者は原則として本学会員に限る。
- (2) 本会所定の原稿用紙(申込み次第送付する)に執筆のこと。(雑誌1ページは本会原稿用紙で7枚)
- (3) 寄稿の種類
  1. 論文(長さは刷上り6ページ以内、題目、著者名、所属の英訳を付ける)  
学術および技術に寄与する新しい研究成果
  2. 紙上討論(長さは刷上り1ページ以内)  
本会誌に掲載された事項に関する討論およびそれに対する原著者の回答。
  3. 寄書(長さは刷上り1ページ以内)  
論文とするほど纏まったものではないが、学術および技術に寄与する新しい研究成果あるいは考察など。
  4. 会員の声(長さは刷上り2ページ以内)  
学術または技術について会員一般の関心を
- (4) 寄稿の採否  
採否は常務理事を含む幹事会で決定する。また要旨だけ掲載する場合もある。前項1および3に該当するもので、本会受付前に、他の公開出版物にはほぼ同じくらい詳しく掲載されたものは、原則として掲載しない。
- (5) 原稿の送付先 東京都港区芝西久保巴町35  
電子工業振興協会内 情報処理学会
- (6) 論文別刷50部著者に贈呈。それ以上は有料。

促すための意見、本会の事業および動向に対する批判や意見など。

5. 文献紹介(長さは刷上り0.5ページ以内)  
紹介したい原著の題目を学会に照会の上、寄稿せられたい。掲載の節は謝礼を呈する。
6. ニュース(長さは刷上り0.5ページ以内)  
ニュース源の紹介、ニュース記事のいずれでもよい。掲載の節は謝礼を呈する。

- (4) 寄稿の採否  
採否は常務理事を含む幹事会で決定する。また要旨だけ掲載する場合もある。前項1および3に該当するもので、本会受付前に、他の公開出版物にはほぼ同じくらい詳しく掲載されたものは、原則として掲載しない。
- (5) 原稿の送付先 東京都港区芝西久保巴町35  
電子工業振興協会内 情報処理学会
- (6) 論文別刷50部著者に贈呈。それ以上は有料。